

公共施設経営適正化計画

- 令和元年度～令和3年度 -
(平成30年度施設評価分)

令和元年 12 月
宮崎市企画財政部資産経営課

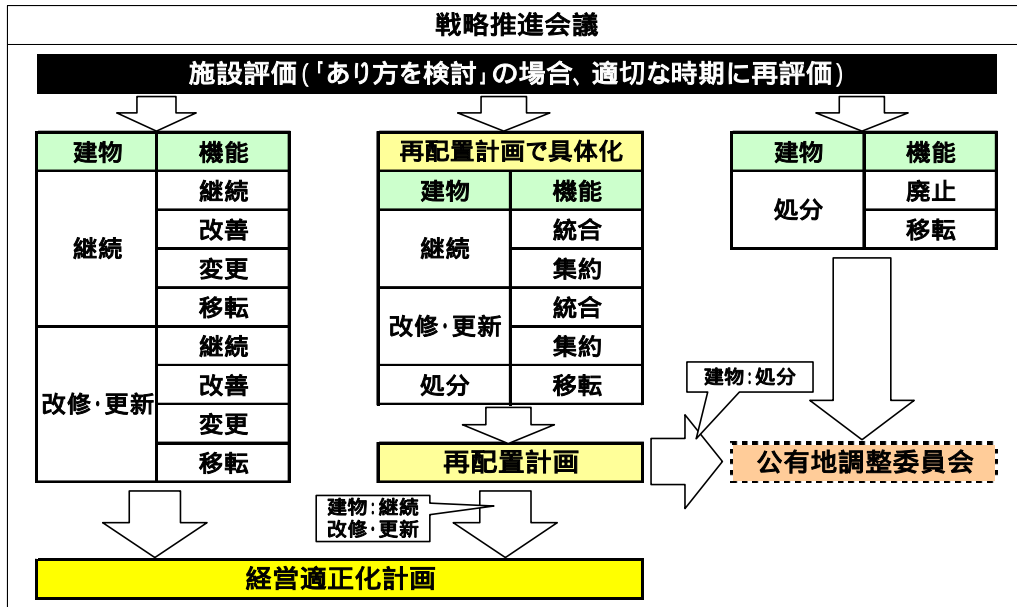


公共施設経営適正化計画の策定の概要（平成30年度施設評価対象施設）

1. 目的

公共施設経営適正化計画は、施設評価において継続して保有することが決まった施設を品質・供給・財務の視点から適正に経営することを目的として策定するものです。

評価後の対応フロー



2. 対象施設

平成30年度の施設評価において継続して保有することが決まった施設のうち、別添「対象施設一覧」の施設が対象となります。（以下の施設を除く）

公共施設経営適正化計画策定の対象外の施設

- ☞ 評価が「継続。あり方を検討」となった施設は再評価するため対象外とします。
- ☞ 個別施設計画(長寿命化計画等)を策定済みの施設につきましては対象外とします。

3. 計画の項目の内容

区分	内容
1.～4.	施設の基本的な情報。
5.～6.	平成30年度施設評価の結果で、令和元年7月末に確定した事項。
7.	「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由
7.～	品質(建物)、供給(利用)、財務(収支)ごとに、それぞれの評価指標を高める具体的な目標、取り組み、効果をまとめたもの。民間活力を導入した取り組みを推進するため、「取り組みにおける公民連携」の欄を設定。

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度			
1.台帳番号	9820	3.利用用途別分類	集会施設			
2.施設名	宮崎市田野伝承芸能館	4.利用圏域別分類	地域			
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続				
	機能	改善				
6.今後の経営の方向性						
<p>社会情勢の変化に伴い、生涯学習の場に加え、地域のまちづくりや防災・被害対策の活動の拠点としての役割が増すなど、求められている機能が変化していることを踏まえ、真に必要な機能を構築した上で、機能の統合・集約を進める。さらに、民間活力を導入することにより、費用対効果の高い施設の改修・更新に取り組む。 また、使用料の適正化に取り組む。</p>						
7.経営適正化計画						
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)						
<p>総合評価に掲げる内容に基づき、現サービスを継続しながら、施設の利用量率を高める取り組みを行い、また施設使用料改定も検討する。これにより、財源を確保し健全な施設経営を図る。</p>						
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)						
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 49.7	内容	計画前の実績		計画実施年度		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)					
	目標達成のための 取り組み	目標1) 随時建物の点検を行い、建物内外の不具合を確認する。				
取り組み における 公民連携	目標1) 施設の保守点検等の業務を民間委託することにより、適切な管理を行なう。					
目標達成 の効果	目標1) 施設の長寿命化が可能となる。また、低コストで安全かつ有効な利活用を図ることが可能となる。					
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 48.1	内容	計画前の実績		計画実施年度		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	検討	検討	検討 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)					
	目標達成のための 取り組み	目標1) 施設の有効活用について検討し、稼働率の向上を目指す。				
取り組み における 公民連携	目標1) 近隣住民へのPRを行い、市民への周知を図る。					
目標達成 の効果	目標1) 利用者の増加が図られる。					
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 52.1	内容	計画前の実績		計画実施年度		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	未実施	未実施	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)					
	目標達成のための 取り組み	目標1) 利用者の確保を図る。また、他の施設の動向をみながら、施設使用料の改定を検討する。				
取り組み における 公民連携	なし					
目標達成 の効果	目標1) 施設使用料による財源確保を図ることにより、施設の健全な運営が図られる。					
施設主管課	文化財課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	90230	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	宮崎市高岡交流プラザ	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	改善					
6.今後の経営の方向性							
<p>社会情勢の変化に伴い、生涯学習の場に加え、地域のまちづくりや防災・被害対策の活動の拠点としての役割が増すなど、求められている機能が変化していることを踏まえ、真に必要な機能を構築した上で、機能の統合・集約を進める。さらに、民間活力を導入することにより、費用対効果の高い施設の改修・更新に取り組む。 また、使用料の適正化に取り組む。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>「施設評価」において機能が改善となったこと、「今後の経営の方向性」において市負担額の削減が方針として定められていることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早急に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、民間提案によって新たな企画を展開し、利用者増、管理経費の削減に取り組み、機能を改善する。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 57.6	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物設備等の点検及び・補修等	未実施	未実施	点検・補修等 (-)	点検・補修等 (-)	点検・補修等 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できるとともに、建物の長寿命化が可能になる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 48.7	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者の増加	33,022人	32,555人	33,200人 (-)	33,800人 (-)	34,500人 (-)
	目標2 (実績2)	稼働率の向上	15.70%	16.93%	17.30% (-)	17.63% (-)	17.96% (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設イベント等の周知を充実させ、利用者増を目指す。 目標2)施設の有効活用について検討し、稼働率の向上を目指す。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、市民への周知を徹底させる。 目標2)指定管理者や地元の方との連携により、施設の有効活用について検討する。					
目標達成の 効果	目標1)施設利用者が増加し、稼働率の向上に繋がる。 目標2)より有効的な活用を検討することで、施設サービスの向上に繋がる。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 51.4	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	使用料収入の増加	1,432,943	1,463,058	1,490,000 (-)	1,520,000 (-)	1,550,000 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設利用者の増加により、使用料収入の増加を目指す。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携により、施設イベント等の周知を徹底させ、利用者増を目指す。					
目標達成の 効果	目標1)市負担額の削減が期待できる。						
施設主管課		高岡・地域市民福祉課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3830	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	宮崎市南部老人福祉センター	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>社会情勢の変化に伴い、生涯学習の場に加え、地域のまちづくりや防災・被害対策の活動の拠点としての役割が増すなど、求められている機能が変化していることを踏まえ、真に必要な機能を構築した上で、機能の統合・集約を進める。さらに、民間活力を導入することにより、費用対効果の高い施設の改修・更新に取り組む。 また、使用料の適正化に取り組む。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>総合評価において、建物及び機能ともに継続となったことから、今後も引き続き適切な施設の維持管理を行う。また、指定管理者との連携によって施設の改修・更新、利用者増、管理経費の削減に努める。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 40	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	施設の改修・更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)経年劣化による不具合や安全性に問題がある設備等を更新・改修する。					
取り組み における 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。						
目標達成 の効果	目標1)利用者の安全性・機能性を確保できるとともに、施設の長寿命化が可能になる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 64.6	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	年間利用者の増	46,217人	48,095人	48,300人 (-)	48,500人 (-)	48,700人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)広報活動を強化する。					
取り組み における 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、広報活動を強化する。						
目標達成 の効果	目標1)施設サービスの向上および費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 50.1	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	光熱水費の削減	3,599千円	3,603千円	3,585千円 (-)	3,568千円 (-)	3,551千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)指定管理者による削減に加え、利用者に対しても節水・節電等を啓発する。					
取り組み における 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。						
目標達成 の効果	目標1)持続的な光熱水費の抑制及び環境負荷の低減が実現する。						
施設主管課	長寿支援課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3840	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	宮崎市住吉老人いこいの家	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>社会情勢の変化に伴い、生涯学習の場に加え、地域のまちづくりや防災・被害対策の活動の拠点としての役割が増すなど、求められている機能が変化していることを踏まえ、真に必要な機能を構築した上で、機能の統合・集約を進める。さらに、民間活力を導入することにより、費用対効果の高い施設の改修・更新に取り組む。 また、使用料の適正化に取り組む。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>総合評価において、建物及び機能ともに継続となったことから、今後も引き続き適切な施設の維持管理を行う。また、指定管理者との連携によって施設の改修・更新、利用者増、管理経費の削減に努める。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 38.1	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	施設の改修・更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)経年劣化による不具合や安全性に問題がある設備等を更新・改修する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性・機能性を確保できるとともに、施設の長寿命化が可能になる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 44.5	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	年間利用者の増	5,931人	5,113人	5,200人 (-)	5,300人 (-)	5,400人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)広報活動を強化する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、広報活動を強化する。					
目標達成の 効果	目標1)施設サービスの向上および費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 49.2	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	光熱水費の削減	626千円	447千円	445千円 (-)	443千円 (-)	441千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)指定管理者による削減に加え、利用者に対しても節水・節電等を啓発する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。					
目標達成の 効果	目標1)持続的な光熱水費の抑制及び環境負荷の低減が実現する。						
施設主管課	長寿支援課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3850	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	宮崎市古城老人いこいの家	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>社会情勢の変化に伴い、生涯学習の場に加え、地域のまちづくりや防災・被害対策の活動の拠点としての役割が増すなど、求められている機能が変化していることを踏まえ、真に必要な機能を構築した上で、機能の統合・集約を進める。さらに、民間活力を導入することにより、費用対効果の高い施設の改修・更新に取り組む。 また、使用料の適正化に取り組む。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>総合評価において、建物及び機能ともに継続となったことから、今後も引き続き適切な施設の維持管理を行う。また、指定管理者との連携によって施設の改修・更新、利用者増、管理経費の削減に努める。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
※参考 品質評価 偏差値 47.1	目標1 (実績1)	施設の改修・更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)経年劣化による不具合や安全性に問題がある設備等を更新・改修する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。					
	目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性・機能性を確保できるとともに、施設の長寿命化が可能になる。					
④供給	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
※参考 供給評価 偏差値 51.8	目標1 (実績1)	年間利用者の増	11,547人	8,885人	10,200人 (-)	10,300人 (-)	10,400人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)広報活動を強化する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、広報活動を強化する。					
	目標達成の 効果	目標1)施設サービスの向上および費用対効果の高い経営が実現する。					
⑤財務	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
※参考 財務評価 偏差値 47.9	目標1 (実績1)	光熱水費の削減	2,793千円	2,260千円	2,780千円 (-)	2,767千円 (-)	2,754千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)指定管理者による削減に加え、利用者に対しても節水・節電等を啓発する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。					
	目標達成の 効果	目標1)持続的な光熱水費の抑制及び環境負荷の低減が実現する。					
施設主管課	長寿支援課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3870	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	宮崎市北部老人福祉センター・宮崎市青少年プラザ	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>社会情勢の変化に伴い、生涯学習の場に加え、地域のまちづくりや防災・被害対策の活動の拠点としての役割が増すなど、求められている機能が変化していることを踏まえ、真に必要な機能を構築した上で、機能の統合・集約を進める。さらに、民間活力を導入することにより、費用対効果の高い施設の改修・更新に取り組む。 また、使用料の適正化に取り組む。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>総合評価において、建物及び機能ともに継続となったことから、今後も引き続き適切な施設の維持管理を行う。また、指定管理者との連携によって施設の改修・更新、利用者増、管理経費の削減に努める。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 53.1	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	施設の改修・更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)経年劣化による不具合や安全性に問題がある設備等を更新・改修する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性・機能性を確保できるとともに、施設の長寿命化が可能になる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 64.7	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	年間利用者の増	116,266人	148,347人	149,000人 (-)	149,700人 (-)	150,400人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)広報活動を強化する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、広報活動を強化する。					
目標達成の 効果	目標1)施設サービスの向上および費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 52.7	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	光熱水費の削減	7,965千円	8,121千円	8,081千円 (-)	8,041千円 (-)	8,001千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)指定管理者による削減に加え、利用者に対しても節水・節電等を啓発する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。					
目標達成の 効果	目標1)持続的な光熱水費の抑制及び環境負荷の低減が実現する。						
施設主管課	長寿支援課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3880	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	大塚台地域福祉コミュニティーセンター	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>社会情勢の変化に伴い、生涯学習の場に加え、地域のまちづくりや防災・被害対策の活動の拠点としての役割が増すなど、求められている機能が変化していることを踏まえ、真に必要な機能を構築した上で、機能の統合・集約を進める。さらに、民間活力を導入することにより、費用対効果の高い施設の改修・更新に取り組む。 また、使用料の適正化に取り組む。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>総合評価において、建物及び機能ともに継続となったことから、今後も引き続き適切な施設の維持管理を行う。また、指定管理者との連携によって施設の改修・更新、利用者増、管理経費の削減に努める。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 49.1	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	施設の改修・更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)経年劣化による不具合や安全性に問題がある設備等を更新・改修する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性・機能性を確保できるとともに、施設の長寿命化が可能になる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 66.5	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者の増	13,990人	14,086人	14,100人 (-)	14,200人 (-)	14,300人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)広報活動を強化する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、広報活動を強化する。					
目標達成の 効果	目標1)施設サービスの向上および費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 51.6	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	光熱水費の削減	50千円	46千円	45千円 (-)	44千円 (-)	43千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)指定管理者による削減に加え、利用者に対しても節水・節電等を啓発する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。					
目標達成の 効果	目標1)持続的な光熱水費の抑制及び環境負荷の低減が実現する。						
施設主管課		長寿支援課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3890	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	宮崎市赤江老人福祉センター	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>社会情勢の変化に伴い、生涯学習の場に加え、地域のまちづくりや防災・被害対策の活動の拠点としての役割が増すなど、求められている機能が変化していることを踏まえ、真に必要な機能を構築した上で、機能の統合・集約を進める。さらに、民間活力を導入することにより、費用対効果の高い施設の改修・更新に取り組む。 また、使用料の適正化に取り組む。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>総合評価において、建物及び機能ともに継続となったことから、今後も引き続き適切な施設の維持管理を行う。また、指定管理者との連携によって施設の改修・更新、利用者増、管理経費の削減に努める。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 50.5	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	施設の改修・更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)経年劣化による不具合や安全性に問題がある設備等を更新・改修する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性・機能性を確保できるとともに、施設の長寿命化が可能になる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 64.9	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	年間利用者の増	29,423人	28,842人	28,900人 (-)	29,000人 (-)	29,100人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)広報活動を強化する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、広報活動を強化する。					
目標達成の 効果	目標1)施設サービスの向上および費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 48.6	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	光熱水費の削減	2,592千円	2,594千円	2,582千円 (-)	2,570千円 (-)	2,558千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)指定管理者による削減に加え、利用者に対しても節水・節電等を啓発する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。					
目標達成の 効果	目標1)持続的な光熱水費の抑制及び環境負荷の低減が実現する。						
施設主管課	長寿支援課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3940	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	内海やっこ荘	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>社会情勢の変化に伴い、生涯学習の場に加え、地域のまちづくりや防災・被害対策の活動の拠点としての役割が増すなど、求められている機能が変化していることを踏まえ、真に必要な機能を構築した上で、機能の統合・集約を進める。さらに、民間活力を導入することにより、費用対効果の高い施設の改修・更新に取り組む。 また、使用料の適正化に取り組む。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>総合評価において、建物及び機能ともに継続となったことから、今後も引き続き適切な施設の維持管理を行う。また、指定管理者との連携によって施設の改修・更新、利用者増、管理経費の削減に努める。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 49.3	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	施設の改修・更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)経年劣化による不具合や安全性に問題がある設備等を更新・改修する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性・機能性を確保できるとともに、施設の長寿命化が可能になる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 43.4	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	年間利用者の増	4,579人	5,926人	6,000人 (-)	6,100人 (-)	6,200人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)広報活動を強化する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、広報活動を強化する。					
目標達成の 効果	目標1)施設サービスの向上および費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 50.4	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	光熱水費の削減	386千円	388千円	387千円 (-)	386千円 (-)	385千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)指定管理者による削減に加え、利用者に対しても節水・節電等を啓発する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。					
目標達成の 効果	目標1)持続的な光熱水費の抑制及び環境負荷の低減が実現する。						
施設主管課	長寿支援課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	9480	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	宮崎市内山農村研修センター	4.利用圏域別分類	地区				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	改善					
6.今後の経営の方向性							
<p>新たな施設は建設せず、機能の統合・集約を進めることで施設の数・面積を削減し、継続して保有する施設については、適切な建物の保全に取り組み長寿命化を進める。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>指定管理制度を取り入れ、集会施設として地元による管理運営を行っている。築30年以上が経過しており、施設の老朽化に伴いメンテナンスが必要となってきた。そのため、施設の維持、修繕については、緊急性や必要性を検討し、効率的に取り組む。また、引き続き指定管理者による施設運営、管理に努め、施設の有効活用や維持管理経費の抑制に努める。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 48.7	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	外壁等の補修	未実施	未実施	検討 (-)	調査 (-)	設計 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)外壁等の補修について、建物診断による緊急性、必要性を勘案し、実施を判断する。					
取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの情報を元に修繕箇所、破損の程度等、より細やかな状況把握に取り組む。						
目標達成の 効果	目標1)施設の劣化を未然に防ぎ、効率的な施設の維持・修繕が図られる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 49.4	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	稼働率の向上	14.61%	15.25%	18.00% (-)	19.00% (-)	20.00% (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)指定管理者と協力し、新たな利用方法や利用者の獲得を目指す。					
取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、利用方法の検討、利用者の掘り起こしに努める。						
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の向上、市民の自主的な活動促進が見込める。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 50.4	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	光熱水費の抑制	365千円	358千円	350千円 (-)	350千円 (-)	350千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)省エネへの啓発を行い、節電、節水等への取り組みを促す。					
取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの意見、提案を元に、効率的な管理に努める。						
目標達成の 効果	目標1)管理費用(電気代等)の抑制が図られ、環境負荷の低減が見込める。						
施設主管課		高岡・農林建設課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	4550	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	宮崎テクノロジーパーク交流研修センター	4.利用圏域別分類	地区				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>新たな施設は建設せず、機能の統合・集約を進めることで施設の数・面積を削減し、継続して保有する施設については、適切な建物の保全に取り組み長寿命化を進める。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>今後の経営の方向性を踏まえ、本施設については、予防保全的な修繕を行い、施設の長寿命化を進める。また、施設の利用者を増やすため、積極的な施設の周知活動や既存利用者の利用促進を図っていく。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 51.2	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物等の点検の実施,補修	未実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回建物や敷地内を点検し、不具合を確認する。不具合については、必要に応じて補修を行う。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)なし					
目標達成 の効果	目標1)建物の長寿命化が可能となる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 49.4	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者の増	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の利用者を増やすため、施設の周知活動や施設利用者への利用促進を促す。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)なし					
目標達成 の効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 57.6	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担額の軽減	未実施	未実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)光熱水費の削減のため、利用者に節電・節水を呼びかける。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)なし					
目標達成 の効果	目標1)市負担額が削減できる。						
施設主管課		商工戦略局工業政策課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3360	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	共同利用施設 空港南センター	4.利用圏域別分類	地区				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>新たな施設は建設せず、機能の統合・集約を進めることで施設の数・面積を削減し、継続して保有する施設については、適切な建物の保全に取り組み長寿命化を進める。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>今後とも学習・保育・休養又は集会の場所として効果的な施設管理を行うため、地元自治会による指定管理を継続する。また、施設の長寿命化計画を策定し、修繕更新費用を削減することにより、効率的な管理運営を図る。 市民に対する施設の顕在化を図るとともに、利用状況の周知を徹底して行うことにより、稼働率の向上を図る。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 53.6	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	建物長寿命化計画の策定	未実施	未実施	検討 (-)	策定 (-)	(-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回建物点検を実施し、建物内外の不具合を確認する。 目標2)長寿命化計画を策定する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)品質低下を防ぐため、指定管理者と協議し、適切な点検時期を設定する。 目標2)長寿命化計画において、指定管理者からの提案を基に適切な工事又は修繕時期を設定する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者等の安全性を確保できる。 目標2)利用者の安全性を確保できるとともに、建物の長寿命化が可能になる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 44.1	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	地元住民の施設利用促進	実施	実施	検討 (-)	検討 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)地元住民への施設利用状況の周知を積極的に行う。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による、地元住民への周知を行う。					
目標達成の 効果	目標1)施設利用状況を地元住民が把握することにより、施設利用が促進される。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 49.2	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	市負担額の軽減	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)指定管理契約期間中に検討を行い、経費の見直しを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理制度を導入しており、平成28年度から5年間の契約を行っている。					
目標達成の 効果	目標1)経費の見直しにより、費用対効果の改善を見込める。						
施設主管課	環境保全課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

			策定年度	令和元年度			
1.台帳番号	3370		3.利用用途別分類	集会施設			
2.施設名	共同利用施設 ひえだセンター		4.利用圏域別分類	地区			
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>新たな施設は建設せず、機能の統合・集約を進めることで施設の数・面積を削減し、継続して保有する施設については、適切な建物の保全に取り組み長寿命化を進める。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>今後とも学習・保育・休養又は集会の場所として効果的な施設管理を行うため、地元自治会による指定管理を継続する。また、施設の長寿命化計画を策定し、修繕更新費用を削減することにより、効率的な管理運営を図る。 市民に対する施設の顕在化を図るとともに、利用状況の周知を徹底して行うことにより、稼働率の向上を図る。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 53.3	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	建物長寿命化計画の策定	未実施	未実施	検討 (-)	策定 (-)	(-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回建物点検を実施し、建物内外の不具合を確認する。 目標2)長寿命化計画を策定する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)品質低下を防ぐため、指定管理者と協議し、適切な点検時期を設定する。 目標2)長寿命化計画において、指定管理者からの提案を基に適切な工事又は修繕時期を設定する。					
目標達成 の効果	目標1)利用者等の安全性を確保できる。 目標2)利用者の安全性を確保できるとともに、建物の長寿命化が可能になる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 55.1	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	地元住民の施設利用促進	実施	実施	検討 (-)	検討 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)地元住民への施設利用状況の周知を積極的に行う。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による、地元住民への周知を行う。					
目標達成 の効果	目標1)施設利用状況を地元住民が把握することにより、施設利用が促進される。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 49.8	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担額の軽減	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)指定管理契約期間中に検討を行い、経費の見直しを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理制度を導入しており、平成28年度から5年間の契約を行っている。					
目標達成 の効果	目標1)経費の見直しにより、費用対効果の改善を見込める。						
施設主管課	環境保全課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3410	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	共同利用施設 南赤江センター	4.利用圏域別分類	地区				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>新たな施設は建設せず、機能の統合・集約を進めることで施設の数・面積を削減し、継続して保有する施設については、適切な建物の保全に取り組み長寿命化を進める。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>今後とも学習・保育・休養又は集会の場所として効果的な施設管理を行うため、地元自治会による指定管理を継続する。また、施設の長寿命化計画を策定し、修繕更新費用を削減することにより、効率的な管理運営を図る。 市民に対する施設の顕在化を図るとともに、利用状況の周知を徹底して行うことにより、稼働率の向上を図る。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 52.1	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	建物長寿命化計画の策定	未実施	未実施	検討 (-)	策定 (-)	(-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回建物点検を実施し、建物内外の不具合を確認する。 目標2)長寿命化計画を策定する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)品質低下を防ぐため、指定管理者と協議し、適切な点検時期を設定する。 目標2)長寿命化計画において、指定管理者からの提案を基に適切な工事又は修繕時期を設定する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者等の安全性を確保できる。 目標2)利用者の安全性を確保できるとともに、建物の長寿命化が可能になる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 49.7	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	地元住民の施設利用促進	実施	実施	検討 (-)	検討 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)地元住民への施設利用状況の周知を積極的に行う。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による、地元住民への周知を行う。					
目標達成の 効果	目標1)施設利用状況を地元住民が把握することにより、施設利用が促進される。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 49.6	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	市負担額の軽減	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)指定管理契約期間中に検討を行い、経費の見直しを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理制度を導入しており、平成28年度から5年間の契約を行っている。					
目標達成の 効果	目標1)経費の見直しにより、費用対効果の改善を見込める。						
施設主管課	環境保全課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3450	3.利用用途別分類	集会施設				
2.施設名	共同利用施設 津和田センター	4.利用圏域別分類	地区				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>新たな施設は建設せず、機能の統合・集約を進めることで施設の数・面積を削減し、継続して保有する施設については、適切な建物の保全に取り組み長寿命化を進める。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>今後とも学習・保育・休養又は集会の場所として効果的な施設管理を行うため、地元自治会による指定管理を継続する。また、施設の長寿命化計画を策定し、修繕更新費用を削減することにより、効率的な管理運営を図る。 市民に対する施設の顕在化を図るとともに、利用状況の周知を徹底して行うことにより、稼働率の向上を図る。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 51	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	建物長寿命化計画の策定	未実施	未実施	検討 (-)	策定 (-)	(-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回建物点検を実施し、建物内外の不具合を確認する。 目標2)長寿命化計画を策定する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)品質低下を防ぐため、指定管理者と協議し、適切な点検時期を設定する。 目標2)長寿命化計画において、指定管理者からの提案を基に適切な工事又は修繕時期を設定する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者等の安全性を確保できる。 目標2)利用者の安全性を確保できるとともに、建物の長寿命化が可能になる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 49	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	地元住民の施設利用促進	実施	実施	検討 (-)	検討 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)地元住民への施設利用状況の周知を積極的に行う。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による、地元住民への周知を行う。					
目標達成の 効果	目標1)施設利用状況を地元住民が把握することにより、施設利用が促進される。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 49	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	市負担額の軽減	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)指定管理契約期間中に検討を行い、経費の見直しを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理制度を導入しており、平成28年度から5年間の契約を行っている。					
目標達成の 効果	目標1)経費の見直しにより、費用対効果の改善を見込める。						
施設主管課	環境保全課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

			策定年度	令和元年度			
1.台帳番号	3460		3.利用用途別分類	集会施設			
2.施設名	共同利用施設 柳籠センター		4.利用圏域別分類	地区			
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>新たな施設は建設せず、機能の統合・集約を進めることで施設の数・面積を削減し、継続して保有する施設については、適切な建物の保全に取り組み長寿命化を進める。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>今後とも学習・保育・休養又は集会の場所として効果的な施設管理を行うため、地元自治会による指定管理を継続する。また、施設の長寿命化計画を策定し、修繕更新費用を削減することにより、効率的な管理運営を図る。 市民に対する施設の顕在化を図るとともに、利用状況の周知を徹底して行うことにより、稼働率の向上を図る。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 50.1	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	建物長寿命化計画の策定	未実施	未実施	検討 (-)	策定 (-)	(-)
	目標達成 のための 取り組み	目標1)年1回建物点検を実施し、建物内外の不具合を確認する。 目標2)長寿命化計画を策定する。					
	取り組み における 公民連携	目標1)品質低下を防ぐため、指定管理者と協議し、適切な点検時期を設定する。 目標2)長寿命化計画において、指定管理者からの提案を基に適切な工事又は修繕時期を設定する。					
目標達成 の効果	目標1)利用者等の安全性を確保できる。 目標2)利用者の安全性を確保できるとともに、建物の長寿命化が可能になる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 44.3	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	地元住民の施設利用促進	実施	実施	検討 (-)	検討 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)地元住民への施設利用状況の周知を積極的に行う。					
	取り組み における 公民連携	目標1)指定管理者による、地元住民への周知を行う。					
目標達成 の効果	目標1)施設利用状況を地元住民が把握することにより、施設利用が促進される。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 47.9	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担額の軽減	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)指定管理契約期間中に検討を行い、経費の見直しを図る。					
	取り組み における 公民連携	目標1)指定管理制度を導入しており、平成28年度から5年間の契約を行っている。					
目標達成 の効果	目標1)経費の見直しにより、費用対効果の改善を見込める。						
施設主管課	環境保全課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度			
1.台帳番号	3500	3.利用用途別分類	集会施設			
2.施設名	共同利用施設 月見ヶ丘6次センター	4.利用圏域別分類	地区			
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続				
	機能	継続				
6.今後の経営の方向性						
<p>新たな施設は建設せず、機能の統合・集約を進めることで施設の数・面積を削減し、継続して保有する施設については、適切な建物の保全に取り組み長寿命化を進める。</p>						
7.経営適正化計画						
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)						
<p>今後とも学習・保育・休養又は集会の場所として効果的な施設管理を行うため、地元自治会による指定管理を継続する。また、施設の長寿命化計画を策定し、修繕更新費用を削減することにより、効率的な管理運営を図る。 市民に対する施設の顕在化を図るとともに、利用状況の周知を徹底して行うことにより、稼働率の向上を図る。</p>						
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)						
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 48.6	内容	計画前の実績		計画実施年度		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	建物長寿命化計画の策定	未実施	未実施	検討 (-)	策定 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回建物点検を実施し、建物内外の不具合を確認する。 目標2)長寿命化計画を策定する。				
	取り組みにおける 公民連携	目標1)品質低下を防ぐため、指定管理者と協議し、適切な点検時期を設定する。 目標2)長寿命化計画において、指定管理者からの提案を基に適切な工事又は修繕時期を設定する。				
目標達成の 効果	目標1)利用者等の安全性を確保できる。 目標2)利用者の安全性を確保できるとともに、建物の長寿命化が可能になる。					
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 49	内容	計画前の実績		計画実施年度		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	地元住民の施設利用促進	実施	実施	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)					
	目標達成のための 取り組み	目標1)地元住民への施設利用状況の周知を積極的に行う。				
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による、地元住民への周知を行う。				
目標達成の 効果	目標1)施設利用状況を地元住民が把握することにより、施設利用が促進される。					
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 48.6	内容	計画前の実績		計画実施年度		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担額の軽減	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)					
	目標達成のための 取り組み	目標1)指定管理契約期間中に検討を行い、経費の見直しを図る。				
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理制度を導入しており、平成28年度から5年間の契約を行っている。				
目標達成の 効果	目標1)経費の見直しにより、費用対効果の改善を見込める。					
施設主管課	環境保全課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度			
1.台帳番号	3510	3.利用用途別分類	集会施設			
2.施設名	共同利用施設 月見ヶ丘センター	4.利用圏域別分類	地区			
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続				
	機能	継続				
6.今後の経営の方向性						
<p>新たな施設は建設せず、機能の統合・集約を進めることで施設の数・面積を削減し、継続して保有する施設については、適切な建物の保全に取り組み長寿命化を進める。</p>						
7.経営適正化計画						
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)						
<p>今後とも学習・保育・休養又は集会の場所として効果的な施設管理を行うため、地元自治会による指定管理を継続する。また、施設の長寿命化計画を策定し、修繕更新費用を削減することにより、効率的な管理運営を図る。 市民に対する施設の顕在化を図るとともに、利用状況の周知を徹底して行うことにより、稼働率の向上を図る。</p>						
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)						
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 50.3	内容	計画前の実績		計画実施年度		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	建物長寿命化計画の策定	未実施	未実施	検討 (-)	策定 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回建物点検を実施し、建物内外の不具合を確認する。 目標2)長寿命化計画を策定する。				
	取り組みにおける 公民連携	目標1)品質低下を防ぐため、指定管理者と協議し、適切な点検時期を設定する。 目標2)長寿命化計画において、指定管理者からの提案を基に適切な工事又は修繕時期を設定する。				
目標達成 の効果	目標1)利用者等の安全性を確保できる。 目標2)利用者の安全性を確保できるとともに、建物の長寿命化が可能になる。					
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 71.2	内容	計画前の実績		計画実施年度		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	地元住民の施設利用促進	実施	実施	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)					
	目標達成のための 取り組み	目標1)地元住民への施設利用状況の周知を積極的に行う。				
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者による、地元住民への周知を行う。				
目標達成 の効果	目標1)施設利用状況を地元住民が把握することにより、施設利用が促進される。					
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 51	内容	計画前の実績		計画実施年度		
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担額の軽減	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)					
	目標達成のための 取り組み	目標1)指定管理契約期間中に検討を行い、経費の見直しを図る。				
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理制度を導入しており、平成28年度から5年間の契約を行っている。				
目標達成 の効果	目標1)経費の見直しにより、費用対効果の改善を見込める。					
施設主管課	環境保全課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	2910	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	宮崎市緑松体育館	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 43.8	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 48	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	16,444人	16,430人	16,590人 (-)	16,750人 (-)	16,910人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たなスポーツの利用促進を図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 50.1	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

			策定年度	令和元年度			
1.台帳番号	2920		3.利用用途別分類	スポーツ施設			
2.施設名	宮崎市広原体育館		4.利用圏域別分類	地域			
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 47.8	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 46.8	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	14,803人	15,149人	15,300人 (-)	15,450人 (-)	15,600人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たなスポーツの利用促進を図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 49.9	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	2930	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	宮崎市B&G田野海洋センター(体育館)	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 45.9	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施	実施	実施
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施	実施	実施
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 50.3	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	21,041人	17,452人	17,630人	17,800人	17,970人
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 51.6	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討	検討	検討
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施	実施	実施
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

			策定年度	令和元年度			
1.台帳番号	2980		3.利用用途別分類	スポーツ施設			
2.施設名	宮崎市田野体育館		4.利用圏域別分類	地域			
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 44.4	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 57.9	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	37,638人	35,208人	35,560人 (-)	35,910人 (-)	36,260人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 52.6	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3030	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	宮崎市北部記念体育館	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 51.1	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施	実施	実施
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施	実施	実施
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 69	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	63,750人	27,628人	64,390人	65,030人	65,670人
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 56.8	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討	検討	検討
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施	実施	実施
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3040	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	宮崎市南部記念体育館	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 44.6	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 53	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	31,348人	31,362人	31,700人 (-)	32,010人 (-)	32,320人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 58	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

			策定年度	令和元年度			
1.台帳番号	3070		3.利用用途別分類	スポーツ施設			
2.施設名	宮崎市加納スポーツセンター		4.利用圏域別分類	地域			
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 49.1	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 59.9	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	44,117人	46,063人	46,520人 (-)	46,980人 (-)	47,440人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 52.8	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

			策定年度	令和元年度			
1.台帳番号	3100		3.利用用途別分類	スポーツ施設			
2.施設名	宮崎市清武体育館		4.利用圏域別分類	地域			
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 50.7	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 53.7	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	57,452人	57,972人	58,550人 (-)	59,130人 (-)	59,710人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 55.2	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

			策定年度	令和元年度			
1.台帳番号	3120		3.利用用途別分類	スポーツ施設			
2.施設名	宮崎市佐土原体育館		4.利用圏域別分類	地域			
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 54.6	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 54.9	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	59,290人	59,416人	60,010人 (-)	60,600人 (-)	61,190人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 55.5	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3160	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	宮崎市佐土原武道館	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 47	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	—	—	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 53.3	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	14,202人	15,697人	15,860人 (-)	16,020人 (-)	16,180人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 57.8	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3180	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	宮崎市佐土原西体育館	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 49.6	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 53	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	42,018人	31,809人	32,130人 (-)	32,450人 (-)	32,770人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 53.8	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3190	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	那珂地区農業構造改善センター(体育館)	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 53.5	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施	実施	実施
	目標2 (実績2)	アリーナの改修	検討	検討	検討	実施	—
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)アリーナのささくれが目立ち、怪我の恐れがあるため全面改修する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)適切な点検時期を設定する。 目標2)関係各課と連携し、適切な工事時期を設定する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設の機能を保持できるとともに、施設の安全性を確保できる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 44.6	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	7,228人	8,782人	8,870人	8,960人	9,050人
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 57.5	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討	検討	検討
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施	実施	実施
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

			策定年度	令和元年度			
1.台帳番号	3290		3.利用用途別分類	スポーツ施設			
2.施設名	宮崎市穆佐体育館		4.利用圏域別分類	地域			
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 40.4	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 45.7	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	7,318人	8,740人	8,830人 (-)	8,920人 (-)	9,010人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 41.1	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課		スポーツランド推進課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	2960	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	宮崎市田野運動公園	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 47.1	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	施設点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、施設点検を実施し、施設の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 49.4	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	70,625人	69,396人	70,100人 (-)	70,790人 (-)	71,480人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。 目標2)自主事業やスポーツ教室を通して利用促進を図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。 目標2)指定管理者と連携して充実した事業・教室を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 42.4	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課		スポーツランド推進課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

			策定年度	令和元年度			
1.台帳番号	3170		3.利用用途別分類	スポーツ施設			
2.施設名	宮崎市久峰総合公園		4.利用圏域別分類	地域			
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 49.5	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	施設点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、施設点検を実施し、施設の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 52.2	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	75,621人	70,264人	70,960人 (-)	71,600人 (-)	72,360人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 39	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

			策定年度	令和元年度			
1.台帳番号	3230		3.利用用途別分類	スポーツ施設			
2.施設名	宮崎市天ヶ城公園(スポーツ施設)		4.利用圏域別分類	地域			
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 46.3	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	施設点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、施設点検を実施し、施設の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 42.9	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	27,986人	33,435人	33,780人 (-)	34,110人 (-)	34,440人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 59.1	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課		スポーツランド推進課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3300	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	宮崎市サンスポーツランド高岡	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地域の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 42.8	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施	実施	実施
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施	実施	実施
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 55.5	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	27,568人	25,862人	26,120人	26,380人	26,640人
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな大会や合宿等の受け入れを図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携によって、スポーツ器具の点検及び整備を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 59.6	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討	検討	検討
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施	実施	実施
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	2940	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	二ツ山農村運動広場	4.利用圏域別分類	地区				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 45	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	施設点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)年1回、施設点検を実施し、グラウンド内外の不具合を確認する。					
	取り組み における 公民連携	目標1)適切な点検時期を設定する。					
目標達成 の効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 -	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	※供給は対象外					
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み						
	取り組み における 公民連携						
目標達成 の効果							
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 44.9	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担額の削減	0千円	0千円	80千円 (-)	80千円 (-)	80千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)修繕費及び工事費を削減する。					
	取り組み における 公民連携	目標1)不具合箇所を早期に発見する。					
目標達成 の効果	目標1)最少経費での施設管理が実現できる。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	2970	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	田野南農村運動広場	4.利用圏域別分類	地区				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 36.9	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	施設点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)年1回、施設点検を実施し、グラウンド内外の不具合を確認する。					
	取り組み における 公民連携	目標1)適切な点検時期を設定する。					
目標達成 の効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 -	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	※供給は対象外					
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み						
	取り組み における 公民連携						
目標達成 の効果							
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 49	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担額の削減	0千円	1,039千円	150千円 (-)	150千円 (-)	120千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)修繕費及び工事費を削減する。					
	取り組み における 公民連携	目標1)不具合箇所を早期に発見する。					
目標達成 の効果	目標1)最少経費での施設管理が実現できる。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3020	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	北川内運動広場	4.利用圏域別分類	地区				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 55.5	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	施設点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)年1回、施設点検を実施し、グラウンド内外の不具合を確認する。					
	取り組み における 公民連携	目標1)適切な点検時期を設定する。					
目標達成 の効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 -	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	※供給は対象外					
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み						
	取り組み における 公民連携						
目標達成 の効果							
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 41.7	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担額の削減	0千円	0千円	10千円 (-)	10千円 (-)	10千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)修繕費及び工事費を削減する。					
	取り組み における 公民連携	目標1)不具合箇所を早期に発見する。					
目標達成 の効果	目標1)最少経費での施設管理が実現できる。						
施設主管課		スポーツランド推進課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3150	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	石崎運動広場	4.利用圏域別分類	地区				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 53.6	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	施設点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)年1回、施設点検を実施し、グラウンド内外の不具合を確認する。					
	取り組み における 公民連携	目標1)適切な点検時期を設定する。					
目標達成 の効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 -	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	※供給は対象外					
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み						
	取り組み における 公民連携						
目標達成 の効果							
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 47.4	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担額の削減	0千円	88千円	80千円 (-)	80千円 (-)	80千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)修繕費及び工事費を削減する。					
	取り組み における 公民連携	目標1)不具合箇所を早期に発見する。					
目標達成 の効果	目標1)最少経費での施設管理が実現できる。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3200	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	佐土原西運動広場	4.利用圏域別分類	地区				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 51.8	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 73.1	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	24,726人	25,829人	26,060人 (-)	26,320人 (-)	26,580人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)旧佐土原町域以外の市民の利用促進を図るため、情報を発信する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携し、公共施設での広報を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 54.6	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担額の削減	2,223千円	0千円	2,220千円 (-)	2,200千円 (-)	2,180千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)修繕費及び工事費を削減する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)不具合箇所を早期に発見する。					
目標達成の 効果	目標1)最少経費での施設管理が実現できる。						
施設主管課		スポーツランド推進課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3210	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	細江運動広場	4.利用圏域別分類	地区				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 52.1	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	施設点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、施設点検を実施し、グラウンド内外の不具合を確認する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)適切な点検時期を設定する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 -	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	※供給は対象外					
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み						
	取り組みにおける 公民連携						
目標達成の 効果							
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 70.2	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担額の削減	0千円	0千円	10千円 (-)	10千円 (-)	10千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)修繕費及び工事費を削減する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)不具合箇所を早期に発見する。					
目標達成の 効果	目標1)最少経費での施設管理が実現できる。						
施設主管課		スポーツランド推進課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	100	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	このはなスポーツプラザ	4.利用圏域別分類	地区				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>機能の統合・集約を進めることで施設の数と面積の削減を図る。継続して保有する施設については、地区の住民のスポーツ活動の拠点施設として、適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進めるとともに、使用料の適正化に取り組む。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>総合評価で建物は「継続」、機能は「継続」となっている。今後、適切な建物・設備の保全に取り組み最低限の維持管理に努める。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 30.2	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物・設備等の点検及び補修等	実施	実施	点検・補修等 (-)	点検・補修等 (-)	点検・補修等 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)建物・設備等の点検を適宜行いながら、不具合の早期発見と補修を行う。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)なし					
目標達成の 効果	目標1)建物の長寿命化が可能となる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 -	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	※供給は対象外					
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み						
	取り組みにおける 公民連携						
目標達成の 効果							
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 42.2	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担の抑制	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)光熱水費の抑制に努める。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)なし					
目標達成の 効果	目標1)施設の経費軽減を図ることができる。						
施設主管課		資産経営課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

			策定年度	令和元年度			
1.台帳番号	2950		3.利用用途別分類	スポーツ施設			
2.施設名	宮崎市B&G田野海洋センター(プール)		4.利用圏域別分類	地域			
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>地域・地区の住民のスポーツ活動の拠点施設またはふれあいの場として適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進める。 「宮崎市B&G田野海洋センター(プール)」については、使用料の適正化に取り組む。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>「総合評価」において建物・機能とも継続となっているため、「今後の経営の方向性」において、今後も適切に建物・設備の保全に取り組み、長寿命化を進めることを踏まえ、品質は建物点検による不具合を早期に発見して安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制する。また、指定管理者と連携し、利用者増および管理経費の削減に取り組み、機能を更に向上させる。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 38.8	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)	老朽化した備品の更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)随時、点検を実施し、備品の状態を把握する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者からの提案によって、適切な点検時期を設定する。 目標2)指定管理者との連携によって、更新時期等を確認する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 -	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	8,263人	6,758人	6,830人 (-)	6,900人 (-)	6,970人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)自主事業やスポーツ教室を通して利用促進を図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携して充実した事業・教室を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)施設サービスの向上及び費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 -	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	使用料金の適正化	検討	検討	検討 (-)	検討 (-)	検討 (-)
	目標2 (実績2)	使用料金収入の増加	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)施設の性質・公共性に応じた使用料金の検討を行い、適正な収入の確保を図る。 目標2)利用者数及び稼働率を上げることによって、使用料金収入を増加させる。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者との連携によって、実態に即した、コストの試算を行う。 目標2)指定管理者との連携によって、利用者数及び稼働率向上に向け施設や空き情報を提供する。					
目標達成の 効果	目標1)適正な歳入確保が図られる。 目標2)市負担額の削減ができるとともに、市民サービスが向上する。						
施設主管課	スポーツランド推進課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	4580	3.利用用途別分類	スポーツ施設				
2.施設名	野島川河川プール管理棟	4.利用圏域別分類	地区				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>地域・地区の住民のスポーツ活動の拠点施設またはふれあいの場として適切な建物・設備の保全に取り組み長寿命化を進める。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>野島川河川プール管理棟は、野島川の河川管理者である宮崎県と協議を実施し市が設置していることや、個人や団体等における河川占用の許可は難しいことから、建物・機能とも「継続」となった。</p> <p>品質については、建築から20年を経過しているものの大きな劣化もなく健全な状況ではあるが、今後も定期的な点検を実施し、利用者の安全確保および施設の長寿命化を図る。</p> <p>施設の維持管理費については、地元と協議を行い委託方法の見直しなどを行いながらコストの削減を図っていく。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 52.3	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)年2回程度の建物点検を実施し、建物の不具合等を確認する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)施設設置の経緯などから、指定管理などの公民連携はなじまない。					
目標達成の 効果	目標1)建物点検を実施することにより、利用者の安全確保および施設の長寿命化が図られる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 -	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	施設利用者数の維持	2,307	2,148	2,500 (-)	2,500 (-)	2,500 (-)
	目標2 (実績2)	1日あたりの利用者数の維持	69.9	78.1	69.4 (-)	69.4 (-)	69.4 (-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)天候により利用者数が左右される施設ではあるが、広報紙やSNS等によるきめ細やかな周知を実施することにより、平成28年度の利用者数(過去最高)を維持する。 目標2)広報紙やSNS等によるきめ細やかな周知を実施することにより、平成28年度の1日あたりの利用者数を維持する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)周辺自治会等へ河川プール開設の周知を依頼する。 目標2)周辺自治会等へ河川プール開設の周知を依頼する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者数が維持される。 目標2)1日あたりの利用者数が維持される。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 -	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担額の抑制	1,813	2,110	1,813 (-)	1,813 (-)	1,813 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)建物は管理棟であり、河川は誰もが利用できる(自由使用)ものであることから利用料を徴収することはできない。また、本施設の経費は開設日数(天候次第)により変動することなどから、平成29年度(閉鎖日4日)に要した経費以上にならないよう、経費の精査を実施し市負担額の抑制を図る。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)夏季1ヶ月間の開設のため、指定管理などの公民連携はなじまないが、地元団体に委託することにより効率的な運営を実施する。					
目標達成の 効果	目標1)市負担額が抑制される。						
施設主管課		土木課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3780	3.利用用途別分類	医療保健福祉施設				
2.施設名	宮崎市清武総合福祉センター	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	改修・更新					
	機能	改善					
6.今後の経営の方向性							
<p>新たな施設は建設せず、民間活力を導入して建物の長寿命化に取り組む一方で、機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>本施設は、清武地域における地域福祉及び市民の健康増進を図る拠点施設として障がい者や高齢者など幅広い層の方々にご利用されており、施設内の老朽化した設備の更新等により、利用者の安心・安全で快適な施設利用を確保する。特に空調・ボイラー等が更新時期を迎えていることから、費用対効果を踏まえた更新等を検討する。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 50.6	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	未実施	未実施	検討 (-)	実施 (-)	修繕等計画 (-)
	目標2 (実績2)	空調設備・ボイラー等の更新	未実施	未実施	検討 (-)	改修 (-)	(-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)外壁等の老朽化が見られるため建物点検等を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)更新時期を迎えている空調設備・ボイラー等を更新する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携を図り、適切な点検時期を設定する。 目標2)ESCO事業の活用を検討する。					
目標達成 の効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)利用者の適切・快適な施設利用を確保できる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 -	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	貸し部屋の稼働率の向上	61%	49%	50% (-)	51% (-)	52% (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな使用者を確保できるよう情報の周知を行う。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携し、空き時間の情報周知の方法を検討する。					
目標達成 の効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 56.9	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担額(光熱水費)の維持	13,530千円	15,246千円	15,200千円 (-)	15,200千円 (-)	15,200千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)管理経費(光熱水費)を維持する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)民間事業者、指定管理者との連携によって効果検証を引き続き行い、光熱水費の水準を維持する。					
目標達成 の効果	目標1)持続的な光熱水費の抑制および環境負荷の低減が実現できる。						
施設主管課		福祉総務課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3790	3.利用用途別分類	医療保健福祉施設				
2.施設名	宮崎市佐土原地域福祉センター	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	改修・更新					
	機能	改善					
6.今後の経営の方向性							
<p>新たな施設は建設せず、民間活力を導入して建物の長寿命化に取り組む一方で、機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>本施設は、佐土原地域における地域福祉及び市民の健康増進を図る拠点施設として障がい者や高齢者など幅広い層の方々に利用されており、施設内の老朽化した設備の更新等により、利用者の安心・安全で快適な施設利用を確保する。特に空調・ボイラー等が更新時期を迎えていることから、費用対効果を踏まえた更新等を検討する。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 54.4	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	未実施	未実施	検討 (-)	実施 (-)	修繕等計画 (-)
	目標2 (実績2)	空調設備・ボイラー等の更新	未実施	未実施	検討 (-)	改修 (-)	(-)
	目標達成のための 取り組み	目標1)外壁等の老朽化が見られるため建物点検等を実施し、建物の内外の不具合を確認する。 目標2)更新時期を迎えている空調設備・ボイラー等を更新する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携を図り、適切な点検時期を設定する。 目標2)ESCO事業の活用を検討する。					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。 目標2)利用者の適切・快適な施設利用を確保できる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 -	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	貸し部屋の稼働率の向上	14%	10%	11% (-)	12% (-)	13% (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな使用者を確保できるよう情報の周知を行う。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携し、空き時間の情報周知の方法を検討する。					
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 60.4	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	市負担額(光熱水費)の維持	5,621千円	6,242千円	6,200千円 (-)	6,200千円 (-)	6,200千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)管理経費(光熱水費)を維持する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)民間事業者、指定管理者との連携によって効果検証を引き続き行い、光熱水費の水準を維持する。					
目標達成の 効果	目標1)持続的な光熱水費の抑制および環境負荷の低減が実現できる。						
施設主管課	福祉総務課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3750	3.利用用途別分類	医療保健福祉施設				
2.施設名	宮崎市田野総合福祉館	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	改善					
6.今後の経営の方向性							
<p>新たな施設は建設せず、民間活力を導入して建物の長寿命化に取り組む一方で、機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>本施設は、田野地域における地域福祉及び市民の健康増進を図る拠点施設として障がい者や高齢者など幅広い層の方々に利用されており、施設の適切な維持管理を図ることで、利用者の安心・安全で快適な施設利用を確保する。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 53.7	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	未実施	未実施	検討 (-)	検討 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)外壁等の老朽化が見られるため建物点検等を実施し、建物の内外の不具合を確認する。					
取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携を図り、適切な点検時期を設定する。						
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 -	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	貸し部屋の稼働率の向上	11%	11%	12% (-)	13% (-)	14% (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)新たな使用者を確保できるよう情報の周知を行う。					
取り組みにおける 公民連携	目標1)指定管理者と連携し、空き時間の情報周知の方法を検討する。						
目標達成の 効果	目標1)費用対効果の高い経営が実現する。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 57	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	目標1 (実績1)	市負担額(光熱水費)の維持	17,301千円	19,436千円	19,400千円 (-)	19,400千円 (-)	19,400千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)管理経費(光熱水費)を維持する。					
取り組みにおける 公民連携	目標1)民間事業者、指定管理者との連携によって効果検証を引き続き行い、光熱水費の水準を維持する。						
目標達成の 効果	目標1)持続的な光熱水費の抑制および環境負荷の低減が実現できる。						
施設主管課	福祉総務課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	270	3.利用用途別分類	医療保健福祉施設				
2.施設名	宮崎市佐土原保健センター	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>新たな施設は建設せず、民間活力を導入して建物の長寿命化に取り組む一方で、機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>施設の適切な維持管理に努め、設備の不具合が生じた場合は佐土原総合支所と連携を図りながら、施設の長寿命化及び経費の節減に取り組む。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 44.5	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)年1回、建物点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。					
	取り組みにおける 公民連携	-					
目標達成の 効果	目標1)利用者の安全性を確保できる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 -	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	※供給は対象外					
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み						
	取り組みにおける 公民連携						
目標達成の 効果							
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 44.2	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	市負担額の削減	1,468千円	1,455千円	1,445千円 (-)	1,435千円 (-)	1,425千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)節電などの経費節減に取り組む。					
	取り組みにおける 公民連携	-					
目標達成の 効果	目標1)持続的な施設の維持管理費の抑制が実現できる。						
施設主管課		医療介護連携課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	3925	3.利用用途別分類	医療保健福祉施設				
2.施設名	高岡老人福祉館「百寿荘」	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>新たな施設は建設せず、民間活力を導入して建物の長寿命化に取り組む一方で、機能の統合・集約を進め、施設の数・面積を削減する。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>総合評価において、建物及び機能ともに継続となったことから、今後も引き続き適切な施設の維持管理を行う。また、指定管理者との連携によって施設の改修・更新、利用者増、管理経費の削減に努める。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 32.9	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	施設の改修・更新	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)経年劣化による不具合や安全性に問題がある設備等を更新・改修する。					
	取り組み における 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。					
目標達成 の効果	目標1)利用者の安全性・機能性を確保できるとともに、施設の長寿命化が可能になる。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 -	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	※供給は対象外					
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み						
	取り組み における 公民連携						
目標達成 の効果							
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 41.6	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	光熱水費の削減	0千円	1,552千円	1,545千円 (-)	1,538千円 (-)	1,531千円 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)指定管理者による削減に加え、利用者に対しても節水・節電等を啓発する。					
	取り組み における 公民連携	目標1)指定管理者による日常的な点検・報告により、適切に対応する。					
目標達成 の効果	目標1)持続的な光熱水費の抑制及び環境負荷の低減が実現する。						
施設主管課		長寿支援課					

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	90310	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設				
2.施設名	宮崎市佐土原地域子育て支援センター	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>新たな施設は建設せず、機能の統合・集約を進めることで、施設の数・面積を削減する。木造の施設は、築年数が約40年を経過し、施設の老朽化が進んでいることから、耐用年数(50年)までに建物の改修・更新・廃止等の整備や運営方法の見直し(民間施設や空き教室などの活用)などを検討する。また、非木造の施設は、適切な建物の保全に取り組み長寿命化を進める。</p> <p>児童プールについては、来場者の状況や地域性など十分に考慮しながら、廃止を含めて施設の配置のあり方を検討する。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>定期的な建物点検により不具合を早期に発見し、安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制するとともに、開催行事や講座等の内容充実を図り、利用者サービスの向上、利用者増に努める。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
※参考 品質評価 偏差値 49.1	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)管理運営委託業者が月1回、建物の安全点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)不具合箇所がある場合は、委託業者が市へ報告し、修繕等の補修を行う。					
	目標達成の 効果	目標1)利用者の安全を確保するとともに、修繕更新費用の抑制を図る。					
④供給	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
※参考 供給評価 偏差値 57.8	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	5362人	6701人	8204人 (-)	6420人 (-)	6372人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)子どもの健やかな育ちを促進するため、利用状況や利用者からの希望等を勘案しながら、遊び場の提供や子育て相談等の充実に努める。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)子育て及び子育て支援に関する講習等の実施や子育て親子の交流講座、また佐土原保健センターの保健師や母子保健事業との連携により、子どもの育ち・親の育ちを支援するための取り組みに努める。					
	目標達成の 効果	目標1)施設サービスの向上が、居住地域に関係なく、子育て親子が気軽に利用し、子育て親子の居場所となることに繋がり、費用対効果の高い施設運営が可能となる。					
⑤財務	内容	計画前の実績		計画実施年度			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
※参考 財務評価 偏差値 57	目標1 (実績1)	管理運営費の軽減	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成のための 取り組み	目標1)光熱水費の抑制に努める。					
	取り組みにおける 公民連携	目標1)なし					
	目標達成の 効果	目標1)施設の経費軽減を図ることができる。					
施設主管課	子ども未来局子育て支援課						

公共施設経営適正化計画(令和元年度～令和3年度)

		策定年度	令和元年度				
1.台帳番号	90420	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設				
2.施設名	ハロー・キッズルーム(大淀小学校・敷地内・校舎外)	4.利用圏域別分類	地域				
5.総合評価 (平成30年度)	建物	継続					
	機能	継続					
6.今後の経営の方向性							
<p>新たな施設は建設せず、機能の統合・集約を進めることで、施設の数・面積を削減する。木造の施設は、築年数が約40年を経過し、施設の老朽化が進んでいることから、耐用年数(50年)までに建物の改修・更新・廃止等の整備や運営方法の見直し(民間施設や空き教室などの活用)などを検討する。また、非木造の施設は、適切な建物の保全に取り組み長寿命化を進める。</p> <p>児童プールについては、来場者の状況や地域性など十分に考慮しながら、廃止を含めて施設の配置のあり方を検討する。</p>							
7.経営適正化計画							
①計画の概要(「5.総合評価」および「6.今後の経営の方向性」を踏まえた計画における目標の設定理由)							
<p>定期的な建物点検により不具合を早期に発見し、安全性を確保しながら、修繕更新費用を抑制するとともに、開催行事や講座等の内容充実を図り、利用者サービスの向上、利用者増に努める。また、今後の施設のあり方については、「宮崎市児童館・児童センターの整備及び長寿命化計画(平成31年3月策定)」との整合を図りながら、地域性や必要性などを踏まえた上で、方向性を決定していくこととする。</p>							
②実施計画(具体的な目標・取り組み・効果)							
③品質 ※参考 品質評価 偏差値 57.9	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	建物点検の実施	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)管理運営委託業者が月1回、建物の安全点検を実施し、建物の内外の不具合を確認する。					
	取り組み における 公民連携	目標1)不具合箇所がある場合は、委託業者が市へ報告し、修繕等の補修を行う。					
目標達成 の効果	目標1)利用者の安全を確保するとともに、修繕更新費用の抑制を図る。						
④供給 ※参考 供給評価 偏差値 61.8	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	年間利用者数の増	11,206人	12,155人	10,168人 (-)	10,108人 (-)	10,048人 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)事業費の範囲内で行事・講座等の内容を充実させる。					
	取り組み における 公民連携	目標1)委託事業者との連携によって、地域ぐるみの行事を実施することにより、地域における児童健全育成の拠点づくりに努める。					
目標達成 の効果	目標1)施設サービスの向上及び費用対効果の高い施設運営が可能となる。						
⑤財務 ※参考 財務評価 偏差値 46.5	内容		計画前の実績		計画実施年度		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	目標1 (実績1)	管理運営費の軽減	実施	実施	実施 (-)	実施 (-)	実施 (-)
	目標2 (実績2)						
	目標達成 のための 取り組み	目標1)光熱水費の抑制に努める。					
	取り組み における 公民連携	目標1)なし					
目標達成 の効果	目標1)施設の経費軽減を図ることができる。						
施設主管課		子ども未来局子育て支援課					